

大都市行財政制度に関する特別委員会 行政調査報告

大都市行財政制度に関する特別委員会 委員長 ながさわ 淳一

1. 日程

令和7年4月14日（月）～15日（火）

2. 調査項目・場所

（1）大分県（4月14日）

・東九州メディカルバレー構想について

（2）広島市（4月15日）

・200万人広島都市圏構想について

3. 委員長所見

（1）東九州メディカルバレー構想（大分県）

東九州メディカルバレー構想は、大分県を中心とした東九州地域における医療技術・医療機器製造の集積と産学官連携による地域振興を目指した先進的な取り組みです。この構想では、特に血液や血管に関連する医療分野に注力しており、各方面の企業、大学、研究機関が連携して技術革新を促進し、地域全体の医療機器産業の発展と経済波及効果を狙っています。

また、地域内の既存の医療機器生産基盤を最大限に活かしつつ、大分県など周辺地域の企業や研究機関との連携が進むことで、各主体が補完しあいながら、国際市場でも通用する高度な技術や製品の開発が期待されます。こうした連携の取り組みは、医療技術の迅速な実用化や製造業全体の効率化、そして高い国際競争力の実現に寄与する可能性があると言えるでしょう。

一方で、公共機関と民間企業、そして学术界との調整や情報共有、資金調達の確保、技術標準化といった万全な産業基盤の構築は今後の重要な課題です。しかし、これらの課題に対して戦略的に取り組むことで、持続可能な医療技術革新と地域経済の飛躍的成長が実現される可能性があると考えられます。特に、成功事例が国内外に波及するモデルケースとして注目されることで、他地域での類似プロジェクトへの刺激にもなるでしょう。

さらに、最新の医療機器開発や規格の統一、さらには高齢化社会への対応といった幅広い社会的課題への取り組みの中で、東九州メディカルバレー構想は多角的な発展が期待される貴重な試みです。今後、この構想がどのような具体的な成果を上げ、国際的な競争力強化にどう寄与していくのか、また、産学官のより一層の連携がどのように実現されるのかについても注視していく必要があるでしょう。

また、医療機器の開発プロセスの効率化や技術移転、さらには海外市場との連携強化など、関連分野との横断的な協力の可能性についても考えると、東九州メディカルバレー構想は今後の日本の医療産業全体にとって刺激的なモデルとなる可能性があります。



(2) 「200 万人広島都市圏構想」の実現に向けて（広島市）

「200 万人広島都市圏構想」は、広島市を中核とし、周辺 33 の市町村が一体となって発展を目指す包括的な政策パッケージと言えます。この構想は、現状約 264 万人の人口を抱える広島都市圏が、国の将来推計によれば 2055 年頃には約 200 万人を下回るという厳しい人口動態の変化に対応し、持続可能な地域発展を実現するために打ち出されたものです。

・構想の背景と狙い

この計画は、過去から広島市を中心に連携や交流を強化しながら発展してきた広域的な都市圏を、今後さらに一体的に運営していくための基盤を整える試みです。具体的には、公共交通インフラや医療、教育、環境、さらにはデジタルトランスフォーメーションを通じた行政サービスの効率化など、様々な分野での協力体制の構築が求められています。人口減少に伴う地域間の役割再編や、生活基盤の維持強化を通して、住民が安心して暮らせる環境づくりを実現する点に大きな意義があります。

・実現に向けた課題と展望

この構想を成功させるには、単に行政間での連携を図るだけでなく、地域ごとの特色や潜在的な強みをどう生かすかが鍵となります。例えば、人口減少が進む地域では、住民の暮らしを支える基盤の充実や、若者・企業の流入を促すための雇用創出、魅力ある居住環境の整備が急務です。また、広域の交通ネットワークや通信インフラの整備は、地域間の交流を活性化させ、広島都市圏全体の競争力向上にも直結します。このような多面的な取り組みが、将来的な地域の持続可能性を高めるための重要な要素と考えられます。

・先手必勝の姿勢

人口減少という不可避の現実に対して、あらかじめ広域的な連携構想を策定する点は非常に評価に値します。成功すれば、広島地域が日本国内だけでなく、似た課題を抱える他の地域に対するモデルケースとなる可能性があります。

・柔軟かつ革新的な政策実行

地域の多様性に応じた分権的な都市運営と、中央集権的な戦略の融合が鍵です。各自治体が連携しながらも、自らの強みを活かした施策を実行することで、全体としての実効性が高まると考えられます。

- ・新たな価値の創出

デジタル技術の導入や新産業の振興、観光・文化資源の強化など、従来の枠組みにとらわれない新たなアプローチが、広島都市圏全体の活性化に寄与すると期待されます。

